

「平成25年度都民の健康や地域とのつながりに関する意識・活動状況調査(平成26年12月)の活用及び 地域からの健康づくりを進めるにあたっての課題等

各委員のアンケート結果より

	「都民の健康や地域とのつながりに関する意識・活動状況調査」 (平成26年12月)の地域での活用に関する御意見	地域からの健康づくりを進めるにあたっての課題等
荒川区健康部	自治体ごとの基礎データとして大変有用だと思う。順位づけに一喜一憂することなく、自治体の特徴を明らかにして、良いところは伸ばし、悪いところは補うという考え方が重要だと思う。 間隔を置いて継続的なデータ比較をすれば地域状況やニーズの変化、施策の評価にも有用だと思う。	学校や介護福祉関係部門との連携はもちろんであるが、地域の文化やスポーツとの連携も重要である。当区では、首都大との連携でオリンピック・パラリンピックとも関連した健康づくりスポーツ連携や障害者スポーツ連携を図っていく予定である。 生活習慣病関連では、働き盛り世代の糖尿病予備群に対する栄養運動に関連する普及啓発、ウォーキング等の運動施策を進めることが課題である。
練馬区健康部 健康推進課	昨年度、国保特定健診受診者統計データを一部地域で活用して、健康を考えるワークショップを実施した。都の調査結果については、今後の事業実施において活用を考えたい。	生活習慣病対策、高齢者の健康づくり(健康寿命の延伸)、母子保健事業などでは、庁内の関連部署との連携を進めている。 自主グループにも積極的に事業に取り組んでいただいているが、区の関与が必要な場合が多い。自主グループが自立して事業運営ができるよう支援していくことが課題と捉えている。
立川市福祉保健部 健康推進課	・市の地域保健医療計画の推進や進捗状況の検証において、活用していきたいと考えています。	-
日の出町 いきいき健康課	-	-
東京都 多摩府中保健所	「自分の健康状態に関する意識」(図8-2)や「地域の人との関わりの状況」(図9-2)等をマップに落としたものを興味深く見ましたが、ここから都民にどのようなメッセージを発信していくのでしょうか。	-